

進路だより 12月号

福島県立猪苗代高等学校

2014 (H26) ・ 12 ・ 1

～期末テスト、迫る～

時間の経つのは早いもので、もうすぐ2学期の期末テストが始まります。準備は万全でしょうか。1・2年生は進路、3年生は卒業に、テストは直結します。後で何かやり残したと後悔しないように、しっかり準備して取り組みましょう。冬休みには強化学習会等もありますので、自分の進路を見据えて行動するようにしましょう。特に3年生は、4月からの新生活にスムーズに移行できるように、冬休みを有効活用しましょう。



さて、ここで今年の3年生の受験報告書の中から、印象的なフレーズをまとめてみましょう。

「なぜ（企業名・学校名）なのかを考えておこう」・・・企業や学校を選んだ理由を明確にしておかないと、入社・入学後にミスマッチを起こしたり、試験で答えられなかったりします。

「〇〇をもっとやっておけばよかった」・・・試験後によく見られる感想です。しかしこれは、事前準備である程度対応することができます。「段取り八分」「仕事の9割は「段取り」で決まる」（伊藤昭）などあるように、本番を成功させるためにはしっかりとした準備が大切です。

「新聞を読んでおくべき」・・・時事は社会常識として知っておかなければなりません。高校を卒業すれば「知っていて当たり前」の世界になります。

【就職・進学をする前に読んでおきたい本】

『7つの習慣』

世界中で大ベストセラーになった、自己啓発書。最近では漫画版も出版され、ますます読みやすくなりました。この本には「成功するためにはどうしたらいいのか」ということが書かれています。どのようなことが習慣になれば、人は成功できるのでしょうか？それでは、簡単に「7つの習慣」を見てみましょう。

①自分の判断で行動する

人は何をするにも一度立ち止まって、自分の判断で選んだ行動をしています。ということは、場面に応じて考えた行動をとる必要があるということです。考えなしに行動したり、他人や周りのせいにして行動したりせず、「自分自身で考えて、一番いい方法を自分で選ぶ」ようにしましょう。



②目的を持って始める

将来どんな風になりたいか、どんな人間でいたいかなど、大事な人生のゴールを決めないと、何をしたいのかも分からずに、間違った方向に進むというのはよくあることです。目標や夢、願いを持つことはとても大切です。

③優先順位をつける

人間にとって大切なことは、意外とつらく面倒なことです。しかし、だからといって、そのようなことを「いつか、あとで」と後回しにして、楽しくて楽なことばかりをやっている、「自分で決めた目標や夢、願い」に行き着くことは難しくなります。後戻りはできないので、大切なことから先にやってみましょう。

④WIN-WINを考える

WIN-WINとは、「お互いに幸せになることを考える」ということです。生活している中では、人は人に助けられて生きていて、必ず自分以外の人と関わっています。だから、周りの人とはいつも「自分もあなたも幸せ」でいられるように行動してみましょう。

⑤まず相手を理解してから理解される

自分も相手も幸せになるためには、まず相手から理解しましょう。自分の考えばかり主張しても、相手は自分の心の中がのぞけるわけではないので、「私を理解してくれない」と自己中心的な考えに陥ってしまいます。ここでは順序が大切です。まず、相手の話を聞いてみましょう。そうすることで、相手が理解できて、適切な行動がとれるようになってきます。

⑥相乗効果を発揮する

ここがいまままでの集大成です。一人ひとりがお互いの良さを認め合えば、みんなで出せる力は、一人ひとりの力を足したものよりも大きくなります。人はみな、それぞれ違ういいところを持っています。この、この「自分と違う、人の良いところ」を認め合う姿勢こそが、相乗効果を発揮する源となります。

⑦自分を磨く

包丁の刃はたまに手入れをしないと切れ味が悪くなります。人間も同じです。いつも「自分自身の切れ味」をよく保っていくために、自分を磨き、いつも元気で新しい自分であることが、良い習慣のスパイラルを生みます。

磨く側面には4つあります。(1) 頭 (勉強、復習、読書など)、(2) 体 (運動、早寝早起きなど)、(3) 心 (人に優しくする、相手の立場になって考えるなど)、(4) 人間関係 (自分の大切な人を大切にするなど) です。

以上、どうだったでしょうか。これから新しい生活が待っている人も、高校生活を頑張っていく人も何か感じられるものがあったのではないのでしょうか。気になる人は図書館にもあるので、ぜひ読んでみてください。

☆新生活への助走☆

3年生は進路が決まり、現在は次の目標に向けて頑張っているところでしょう。ただ、具体的な目標がまだ決まらないという人もいるかもしれません。今回は就職情報サイトの「マイナビスチューデント」で、新生活を迎える前に必要なことを色々考えてみましょう。

【社会に出る前に身につけておきたい5つの力】 (2014/10/4)

社会に出ると様々な力を要求されます。しかし、誰もが最初から何でもできるわけではありません。そこで、最初のうちに意識しておくべき5つの力をここで挙げておきますので、参考にしてみましょう！

①自分の立場や周りの環境を「受け入れる力」→受け入れなければ何も始まらない！

- ・じっくり自分と対話し、気持ちを整理する
- ・一人で悩まず、いろいろな人と話をする
- ・「本当にやりたい仕事」があるなら、今決まっている進路を利用して、どうやってそこにたどり着けるか作戦を練る
- ・変えようがない現実については、スパッと諦める

②楽しむ力→やりがいや達成感をより強く味わえる！

- ・「ゲーム化」の活用（※ゲーム化＝作業や仕事に数値的な目標を付加し、終了後にクリアできたかを確認する方法）
- ・身近なモデルのまねをする
- ・記録するクセを身につける

③仕掛ける力→信頼を得られ、日々充実できる！

- ・なぜそれに取り組みたいのか、それを通して何を実現したいのかといった目的やコンセプトを明確にする
- ・周囲を巻き込む
- ・適材適所

④ことば力→相手に自分の思いを伝える！

- ・相手の立場に立って「ことば」を考える

⑤数字力→数字を使った伝達は、明確さが増し、目標達成に近づく！

- ・会話に数字を盛り込む
- ・具体的な数値を掲げる

【社会に出てから役立った資格】 (2014/11/25)

社会に出てからも日々自分磨きは必要です。その中で、資格取得は自己を高めるのもってこいの方法です。それでは、実際にどのような資格が役立ったと言われているのか、見てみましょう。

①自動車運転免許

・身分証明としての役割の大きさと、車両保有前提の職に就いた経験があるので。基本的なものではあるが、心強い資格(男性/34歳/金属・鉄鋼・化学)

②TOE I C

・自分の能力を示すことができる。海外との関わりが多い仕事場では役立つ(女性/22歳/運輸・倉庫)

③簿記

・数字に強くなり、データを読み取る要点がつかめるようになった(男性/43歳/情報・IT)

④マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS)

・ワードやエクセルは、どんな仕事でも使うものだから(女性/30歳/情報・IT)

⑤英語検定

・旅行先や仕事場で外国人と話す機会があるときに、とっさに言葉に出すことができる(女性/26歳/団体・公益法人・官公庁)

様々な資格がある中で、上位に「英語」の資格が複数来ているのは特徴的です。グローバル社会の中で「英語」の役割がますます大きくなっているということがよく分かります。そして、必ずしも自分の職種に直結している資格ばかりを取得しているわけではない、というのも注目されるポイントです。(ちなみに、進路だより編集担当は社会人になってから、「漢検準1級」「英検2級」「危険物取扱者乙種1・2・4・5・6類」を取得し、TOE I Cも受験しました)

【身だしなみ】

仕事をするうえで身だしなみは最低限のマナーです。相手に不快な印象を与えないように気をつけなければなりません。以下には特に注意される身だしなみを挙げておきます。仕事場は仕事をするべきところであって、ファッションを楽しむところではないということを肝に銘じておきましょう。(学校も同じです)

〈男性〉

×無造作ヘア→○短くまとめる

×緩んだネクタイ、だらしなく開いたボタン、汚れた衿→○だらしなく着崩さない

×無精ひげ→○ヒゲは剃る

×汗のニオイ&口臭→○制汗剤や歯みがき、タブレットなどでのニオイケア

×長すぎるor短すぎるパンツ丈→○裾は靴の結び目を隠す程度に少したるみが出る程度

〈女性〉

×派手系ギャルメイク→○ナチュラルさを重視した健康的なメイク

×派手なアクセサリ→○着けていかない

×巻き髪、カラーリング→○上品に、ナチュラルに

×派手なストッキング→○無地でシンプルなもの

×ミニスカート→○膝丈

×派手な靴→○シンプルで動きやすいもの

最も重要な身だしなみのポイントは「清潔感」です。判断に迷ったら、清潔に見えるかどうかを基準にしましょう。それはファッションセンス以前の問題なので、誰にでもできることです。